

Vol.152

院長 関の

Face to Face

2021年2月1日発行

椎間板とは背骨の椎骨と椎骨の間にあるクツショーンのような部分です。体重を支え、衝撃を吸収し、あらゆる動きを可能にし、脊髄神経を守るという重要な役割を果たしています。しかしここには血管がないため、修復しづらい特徴があり、歩行とともに変形しやすい場所です。しかも人間は二足歩行ですから、椎間板は常に重力を受けています。

骨と骨を繋ぐ椎間板の栄養補給法



この大事な椎間板はスポンジを思い浮かべていただくと分かり易いと思います。上から押すと古い水が排出され、手を離すと新しい水を吸収します。つまり、背骨には適度に負荷をかけ、適度に負荷を軽減し、伸ばし足場所です。しかも人間は二歩行ですから、椎間板は常に重力を受けています。

この大事な椎間板はスポンジを思い浮かべていただくと分かり易いと思います。上から押すと古い水が排出され、手を離すと新しい水を吸収します。つまり、背骨には適度に負荷をかけ、適度に負荷を軽減し、伸ばし足場所です。しかも人間は二歩行ですから、椎間板は常に重力を受けています。

この大事な椎間板はスポンジを思い浮かべていただくと分かり易いと思います。上から押すと古い水が排出され、手を離すと新しい水を吸収します。つまり、背骨には適度に負荷をかけ、適度に負荷を軽減し、伸ばし足場所です。しかも人間は二歩行ですから、椎間板は常に重力を受けています。

関修一（せきしゅういち）
健育会 東銀座整骨院・整体院・鍼灸院・マッサージ院 院長
代替医療の総合治療院としての確立を目指す。タイトルの“face to face”は「患者さんの症状と闘う」と合って患者さんの症状と闘う」ことを願つてつけた
※毎月一日の発行です